

# 「正常・微量アルブミン尿を呈し、腎機能の低下した2型糖尿病患者におけるリスク因子の研究」

～ご協力のお願い～

ー平成18年1月1日～平成25年6月30日までに当院糖尿病内科を受診された方へー

研究機関名	岡山大学		
責任研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	教授	槇野博史
分担研究者	岡山大学病院 新医療研究開発センター	教授	四方賢一
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座	教授	片岡仁美
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	准教授	和田淳
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 糖尿病性腎症治療学講座	准教授	小川大輔
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	助教	江口潤
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 糖尿病性腎症治療学講座	助教	中司敦子
	岡山大学病院 総合内科	助教	村上和敏
	岡山大学病院 新医療研究開発センター	助教	小寺亮
	岡山大学病院 糖尿病センター	助教	廣田大昌
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座	助教	勅使川原早苗
	病態制御科学専攻病態機構学講座 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	大学院生(医師)	小野哲一郎
	岡山大学病院 卒後臨床研修センター	助教	小比賀美香子

## 1. 研究の意義と目的

糖尿病性腎症は、糖尿病合併症のひとつであり、重症化すれば腎不全にいたり、人工透析が必要となります。また、合併症として心疾患の危険があることがわかっています。本研究では、今までの患者さんのカルテ情報からどのような要因が糖尿病性腎症の発症や進行を抑制するのか、また、心疾患の危険性についても解明することを目的としています。解明できれば、今後の糖尿病性腎症治療や心疾患を引き起こす要因をあきらかにすることができると考えています。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象：

平成18年1月1日～平成25年6月30日までに当院糖尿病内科を受診された2型糖尿病患者さま約700

名を対象とさせていただきます。

**2) 調査期間：**

平成 25 年 10 月 22 日～平成 27 年 12 月 31 日

**3) 研究方法：**

平成18年1月1日から平成25年6月30日までの間に当院において2型糖尿病と診断され治療を受けられた患者さまについて、研究者が診療情報をもとに血液・尿検査、治療内容、身体所見などのデータを選び、コンピュータ分析することにより、糖尿病性腎症の進行を抑制する因子を調べます。具体的には、観察開始時期における早期糖尿病性腎症（微量アルブミン尿）の方、正常アルブミン尿の方両者を追跡調査し、研究対象期間中のデータをもとに、糖尿病性腎症の発症・進行および寛解・改善に関与する因子を、各種統計解析により調査いたします。

**4) 調査票等：**

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化するので、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴、生活歴
- ・ 診察所見、治療内容、血液や尿などの検査データ

**5) 情報の保護：**

調査情報は岡山大学内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 卒後臨床研修センター

氏名：小比賀 美香子

電話：086-235-7877 ファックス：086-235-7877